

## 活気ある学校を目指して

国府っ子祭りが開催



うらじゃで子どもも保護者も一つに

7月18日、国府小学校で、第1回国府っ子祭りが開催されました。国府小学校PTAが、活気ある学校づくりを目的に企画したものです。

会場には、保護者や地域のボランティアなどによる迷路、読み聞かせなどたくさんのコーナーが設けられ、子どもたちの人気を集めていました。

また、体育館では、南輝小学校（岡山市）の児童でつくる「南輝ブルースカイ」がうらじゃを披露。最後は観客も巻き込んで踊り、保護者と子どもたちの絆を深めていました。

## 賑やかに踊りの輪

牛鬼まつりが開催



太鼓に合わせて踊りの輪は大きく小さく

7月17日に、出島公園（牛窓町牛窓）で牛鬼まつりが開催されました。本牛窓音頭保存会が3世代が楽しめる祭りとして始め、今年で10年目を迎えました。

この日は、武久顕也市長も自慢の歌声を披露して会場を盛り上げました。恒例の踊りコンテストには、職場や地域の15チーム約500人が参加。牛窓の歴史や自然などを織り交ぜた本牛窓音頭のおはやしに合わせて、大人から子どもまで一緒になって踊りを楽しみました。

## いつまでもお元気で

奥山とよのさんと山根益野さんが満100歳に



奥山さん（左）と山根さん（右）

8月18日、奥山とよのさん（邑久町虫明）が満100歳を迎え、桑原真琴副市長が入所している特別養護老人ホーム宗玉園（玉野市）を訪問しました。お祝い状を受け取った奥山さんは何度も「ありがとうございます」とお礼を述べていました。

26日には、25日に満100歳を迎えた山根益野さん（邑久町虫明）が入所している小規模多機能ホームかおりを土井和子保健福祉部長が訪問。山根さんは、笑顔でお祝い状を受け取りました。

お二人ともこれからも元気で過ごしてください。



## 今月の表紙

10月1日、いよいよ瀬戸内市立美術館がオープンします。

穏やかな陽光が差し込む窓からは、牛窓の町並みと前島や小豆島など瀬戸内海の多島美

を望むことができます。「オリーブの画家」と呼ばれ、その温かい人柄で慕われた佐竹画伯の絵とともに訪れた人の心を優しく癒してくれるのではないのでしょうか。

## 大きいのつけたよ

とうもろこし大収穫祭が開催



おいしそうなたうもろこしがいっぱい！

7月24、25日の2日間、邑久町下笠加の畑で農事組合法人ネオ・アシスタント淳風によるとうもろこし大収穫祭が開催されました。

1.6haの畑に甘みの強いゴールドラッシュ種約7万株を栽培。今年は、梅雨期の天候不順で生育の遅れが心配されましたが、その後の晴天続きで無事回復しました。

当日は、朝から強い日差しが照りつける中、たくさんの家族連れなどが来場し、手にしたかごいっぱい収穫していました。

## 小銭を投げて供養

朝日寺で投げ銭供養



勢いよく投げられるさい銭

7月19日、庄田山朝日寺（邑久町庄田）で投げ銭供養が行われました。正式には、如法経法会にょほうきょうほうえといわれるこの行事。約300年前、尻海の船主たちが、亡くなった仲間たちの霊を供養するために小銭を法要中に投げたのが始まりと伝えられ、市の重要無形民俗文化財にも指定されています。

住職が故人の戒名と施主の名前を読み上げ、縁故者や知人が白い紙に包んだ小銭を祭壇へ向かって次々に投げると、赤いじゅうたんがあつという間に白く埋まりました。



まちの  
話題



問 政策調整課：0869-22-1113